

マラウイ トラベルインフォメーション

国のようす

マラウイは、国土の2割を占める細長いマラウイ湖に沿った、南北の細ながい国である。19世紀半ば、リビングストンのアフリカ探検によって、ヨーロッパに紹介されて以来、ヨーロッパ人の進出を被り、植民地化、抵抗運動、独立という歴史をたどってきたが、リビングストンに見出された国ということは、国民の自慢するところである。64年独立以来政権を握り、アフリカサイト最後の独裁者と呼ばれていたカムズ・パンダが94年マラウイ初の大統領選挙の結果敗れ、当社心配されていた混乱などもなく政権交代がされている。。

面積

11.8、万平方キロメートル(北海道と九州を合わせた面積)
人口増加率2.5%

人口

1.428万人(2008年)
人口増加率2.5%

首都

リロングウエ

民族構成

チュワ族、トウンブーカ族(トウンブカ族)、ンゴニ族(アンゴニ族)、ヤオ族、ニャンジャ族、チボカ族、トンガ族、アマゴロゴロ族、ンセンガ族、などが存在する。マラウイ内には、40程度の民族集団が存在するといわれるがそれぞれの見続集団の輪郭は、曖昧である。

宗教

国民の79.9%がキリスト教、12.8%がイスラム教、その他が3%、無宗教が4.8%である。キリスト教は、カトリックよりもプロテスタント各派のほうが多い。マラウイのイスラームにおいては、モスリムは、マラウイ湖畔や、北部に比較的多い。

言葉

チチュワ語(公用語)、英語

産業

タバコ、紅茶、砂糖、落花生、綿花、コーヒー

シーズン 気候 服装

南部の山地と中・北部のマラウイ湖を囲む地域とで気候は違う。5 - 10月の乾季の平均気温は、20度、雨期は、ずっと暑く27度。マラウイ湖畔の地域は、比較的雨が少なく、雨期もすごしやすい。

電気器具

220 / 240V 50HZ
プラグ B / B-3 / BF

時差

日本より7時間遅れ

通貨

1 マラウイ・クワッチャ (MKW)= 100
タンバラ (T)

ビザ

平成14年3月01日より、有効なパスポートを所持される日本人は、ビザ不要となりました。

予防接種情報

黄熱病の汚染地域に滞在、又は、通過後6日以内に入国する場合、
E明書の提示が求められる。
マラリアは予防薬の服用(訪問地域、時期により異なる)

食文化

マラウイ人の多くは、シマと呼ばれるトウモロコシから作られたものを主食として食べる。
多くの場合、魚・牛肉・鶏肉・調理された野菜を副菜にして一緒に食べる
米やキャッサバ粉から作られた食物なども好んで食べる
また畑なので、とれるネズミなどが ポピュラーな食糧で市場などで売られている。

世界遺産

マラウイ共和国内には、ユネスコの世界遺産リストに登録された
文化遺産が1件、自然遺産が1件存在する。

マラウイ湖国立公園 (1984年 自然遺産)
チョンゴエの岩絵地域 (2006年文化遺産)

教育

2003年の推計によれば、15歳以上の国民の識字率は62.7%(男性:76.1%、女性:49.8%)である。
2003年にはGDPの5.8%が教育費に支出された

保健

国民の健康状態は良好ではなく、HIV/AIDSが蔓延しているために平均寿命も43.82歳である。
2007年のHIV感染者は約930,000人であり、感染率は11.9%である。

